

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【公表番号】特表2008-511866(P2008-511866A)

【公表日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-015

【出願番号】特願2007-529979(P2007-529979)

【国際特許分類】

G 0 9 F 13/12 (2006.01)

G 0 2 B 5/02 (2006.01)

G 0 3 B 21/62 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 13/12

G 0 2 B 5/02 B

G 0 3 B 21/62

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遮光性添加剤を含むフィルムを含む基材であって、前記フィルムが、第 1 の主面を含み、さらに光透過領域と遮光領域とを含み、

前記フィルムが構造化表面を含むことによって、厚い遮光領域と、比較的薄い光透過領域とが得られる、基材。

【請求項 2】

前記構造化表面が一連の微細構造を含む、請求項 1 に記載の基材。

【請求項 3】

特徴部が、角錐、円錐、窪んだ柱または窪んだ角錐である、請求項 2 に記載の基材。

【請求項 4】

前記第 1 の主面が約 50%未満の光透過領域を含む、請求項 1 に記載の基材。

【請求項 5】

第 1 の主面を含むフィルムを含む基材であって、前記フィルムが、実質的に連続であり、光透過領域と遮光領域とを含み、

前記フィルムの前記第 1 の主面が、一連の微細構造特徴部によって構造化されており、前記第 1 の主面上の前記遮光領域内に遮光層が存在する、基材。

【請求項 6】

前記特徴部が、角錐、円錐、窪んだ柱または窪んだ角錐である、請求項 5 に記載の基材

。

【請求項 7】

第 1 の主面を含むフィルムを含む基材であって、前記フィルムが光透過領域と遮光領域とを含み、

光透過領域が、1.4mm未満の少なくとも 2 つの横寸法を有し前記フィルムを貫通する一連の孔である、基材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0092

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0092】

本発明の意図および範囲から逸脱しない本発明の種々の変更および変形は、当業者によって明らかとなるであろう。本発明の実施態様の一部を以下に列記する。

(1)

遮光性添加剤を含むフィルムを含む基材であって、前記フィルムが、第1の主面を含み、さらに光透過領域と遮光領域とを含み、

前記フィルムが構造化表面を含むことによって、厚い遮光領域と、比較的薄い光透過領域とが得られる、基材。

(2)

前記構造化表面が一連の微細構造を含む、項目1に記載の基材。

(3)

前記表面が突出した特徴部を含む、項目1に記載の基材。

(4)

前記特徴部が柱である、項目3に記載の基材。

(5)

底部における前記柱の直径が、上端における直径よりも大きい、項目4に記載の基材。

(6)

柱の底部が、隣接する柱の底部と接触している、項目4に記載の基材。

(7)

前記特徴部が角錐である、項目3に記載の基材。

(8)

角錐の底部が、隣接する角錐の底部と接触している、項目7に記載の基材。

(9)

前記角錐が、切頭上端を有する、項目7に記載の基材。

(10)

前記角錐が、丸みを帯びた上端を有する、項目7に記載の基材。

(11)

前記特徴部が円錐である、項目3に記載の基材。

(12)

円錐の底部が、隣接する円錐の底部と接触している、項目11に記載の基材。

(13)

前記円錐が切頭上端を有する、項目11に記載の基材。

(14)

前記円錐が丸みを帯びた上端を有する、項目11に記載の基材。

(15)

前記表面が窪んだ特徴部を含む、項目1に記載の基材。

(16)

前記特徴部が窪んだ柱である、項目15に記載の基材。

(17)

底部における前記柱の直径が、前記表面における直径よりも小さい、項目16に記載の基材。

(18)

前記表面において、柱が、隣接する柱と接触している、項目16に記載の基材。

(19)

前記特徴部が窪んだ角錐である、項目15に記載の基材。

(20)

前記表面において、角錐が、隣接する角錐と接触している、項目 19 に記載の基材。

(2 1)

前記角錐が、切頭底部を有する、項目 19 に記載の基材。

(2 2)

前記角錐が、丸みを帯びた底部を有する、項目 19 に記載の基材。

(2 3)

前記特徴部が窪んだ円錐である、項目 15 に記載の基材。

(2 4)

前記表面において、円錐が隣接する円錐と接触している、項目 23 に記載の基材。

(2 5)

前記円錐が、切頭底部を有する、項目 23 に記載の基材。

(2 6)

前記円錐が、丸みを帯びた底部を有する、項目 23 に記載の基材。

(2 7)

前記基材が多層基材である、項目 1 に記載の基材。

(2 8)

前記構造化表面が独立した層である、項目 1 に記載の基材。

(2 9)

前記フィルムがポリマーである、項目 1 に記載の基材。

(3 0)

前記フィルムが、ポリオレフィン系材料、改質ポリオレフィン系材料、ポリ塩化ビニル、ポリカーボネート、ポリスチレン、ポリエステル、ポリフッ化ビニリデン、アクリル樹脂、ウレタン、およびアクリルウレタンからなる群より選択される材料である、項目 29 に記載の基材。

(3 1)

前記第 1 の主面が約 50 % 未満の光透過領域を含む、項目 1 に記載の基材。

(3 2)

前記第 1 の主面が約 25 % 未満の光透過領域を含む、項目 1 に記載の基材。

(3 3)

前記基材の前記第 1 の主面の前記遮光領域上に反射画像を含む、項目 1 に記載の基材。

(3 4)

前記基材の前記第 1 の主面の前記光透過領域を透過する透過画像を含む、項目 1 に記載の基材。

(3 5)

前記透過画像が、前記第 1 の主面とは反対側にある前記フィルムの主面上の印刷画像である、項目 34 に記載の基材。

(3 6)

前記透過画像が、前記第 1 の主面とは反対側にある前記フィルムの主面上の投影画像である、項目 34 に記載の基材。

(3 7)

前記投影画像が動的である、項目 36 に記載の基材。

(3 8)

前記投影画像が静的である、項目 36 に記載の基材。

(3 9)

第 2 の主面と近接する透過性フィルム層を含み、前記透過画像が前記透過性フィルム上にある、項目 34 に記載の基材。

(4 0)

前記反射画像が、前記基材の前記遮光領域上の印刷画像である、項目 33 に記載の基材。

(4 1)

前記フィルムが安定剤を含む、項目 1 に記載の基材。

(4 2)

第 1 の主面を含むフィルムを含む基材であって、前記フィルムが、実質的に連続であり、光透過領域と遮光領域とを含み、

前記フィルムの前記第 1 の主面が、一連の微細構造特徴部によって構造化されており、前記第 1 の主面上の前記遮光領域内に遮光層が存在する、基材。

(4 3)

前記基材が、前記第 1 の主面とは反対側に第 2 の主面を含み、前記第 2 の主面が構造化されている、項目 4 2 に記載の表示フィルム。

(4 4)

前記第 2 の主面が、一連の微細構造特徴部によって構造化されている、項目 4 3 に記載の基材。

(4 5)

前記フィルムが第 2 の主面を含み、前記第 2 の主面が構造化されていない、項目 4 2 に記載の基材。

(4 6)

前記表面が突出した特徴部を含む、項目 4 2 に記載の基材。

(4 7)

前記特徴部が柱である、項目 4 6 に記載の基材。

(4 8)

底部における前記柱の直径が、上端における直径よりも大きい、項目 4 6 に記載の基材。

(4 9)

柱の底部が、隣接する柱の底部と接触している、項目 4 8 に記載の基材。

(5 0)

前記特徴部が角錐である、項目 4 6 に記載の基材。

(5 1)

角錐の底部が、隣接する角錐の底部と接触している、項目 5 0 に記載の基材。

(5 2)

前記角錐が、切頭上端を有する、項目 5 0 に記載の基材。

(5 3)

前記角錐が、丸みを帯びた上端を有する、項目 5 0 に記載の基材。

(5 4)

前記特徴部が円錐である、項目 4 6 に記載の基材。

(5 5)

円錐の底部が、隣接する円錐の底部と接触している、項目 5 4 に記載の基材。

(5 6)

前記円錐が切頭上端を有する、項目 5 4 に記載の基材。

(5 7)

前記円錐が丸みを帯びた上端を有する、項目 5 4 に記載の基材。

(5 8)

前記表面が窪んだ特徴部を含む、項目 4 2 に記載の基材。

(5 9)

前記特徴部が窪んだ柱である、項目 5 8 に記載の基材。

(6 0)

底部における前記柱の直径が、前記表面における直径よりも小さい、項目 5 9 に記載の基材。

(6 1)

前記表面において、柱が、隣接する柱と接触している、項目 5 9 に記載の基材。

(6 2)

前記特徴部が窪んだ角錐である、項目 5 8 に記載の基材。

(6 3)

前記表面において、角錐が、隣接する角錐と接触している、項目 6 2 に記載の基材。

(6 4)

前記角錐が、切頭底部を有する、項目 6 2 に記載の基材。

(6 5)

前記角錐が、丸みを帯びた底部を有する、項目 6 2 に記載の基材。

(6 6)

前記特徴部が窪んだ円錐である、項目 5 8 に記載の基材。

(6 7)

前記表面において、円錐が隣接する円錐と接触している、項目 6 6 に記載の基材。

(6 8)

前記円錐が、切頭底部を有する、項目 6 6 に記載の基材。

(6 9)

前記円錐が、丸みを帯びた底部を有する、項目 6 6 に記載の基材。

(7 0)

前記基材が多層基材である、項目 4 2 に記載の基材。

(7 1)

前記構造化表面が独立した層である、項目 4 2 に記載の基材。

(7 2)

前記フィルムが光透過性材料である、項目 4 2 に記載の基材。

(7 3)

前記フィルムがポリマーである、項目 4 2 に記載の基材。

(7 4)

前記フィルムが、ポリオレフィン系材料、改質ポリオレフィン系材料、ポリ塩化ビニル、ポリカーボネート、ポリスチレン、ポリエステル、ポリフッ化ビニリデン、アクリル樹脂、ウレタン、およびアクリルウレタンからなる群より選択される材料である、項目 7 3 に記載の基材。

(7 5)

前記第 1 の主面が約 5 0 % 未満の光透過領域を含む、項目 4 2 に記載の基材。

(7 6)

前記第 1 の主面が約 2 5 % 未満の光透過領域を含む、項目 4 2 に記載の基材。

(7 7)

前記基材の前記第 1 の主面の前記遮光領域上に反射画像を含む、項目 4 2 に記載の基材。

(7 8)

前記基材の前記第 1 の主面の前記光透過領域を透過する透過画像を含む、項目 4 2 に記載の基材。

(7 9)

前記透過画像が、前記第 1 の主面とは反対側にある前記フィルムの主面上の印刷画像である、項目 7 8 に記載の基材。

(8 0)

前記透過画像が、前記第 1 の主面とは反対側にある前記フィルムの主面上の投影画像である、項目 7 8 に記載の基材。

(8 1)

前記投影画像が動的である、項目 8 0 に記載の基材。

(8 2)

前記投影画像が静的である、項目 8 0 に記載の基材。

(8 3)

第 2 の主面と近接する透過性フィルム層を含み、前記透過画像が前記透過性フィルム上

にある、項目 7 8 に記載の基材。

(8 4)

前記反射画像が、前記基材の前記遮光領域上の印刷画像である、項目 7 7 に記載の基材

。

(8 5)

前記フィルムが安定剤を含む、項目 4 2 に記載の基材。

(8 6)

前記反射画像が、前記基材の前記遮光領域上の印刷画像である、項目 4 2 に記載の基材

。

(8 7)

前記第 1 の主面とは反対側に第 2 の主面を含み、前記第 2 の主面が構造化されている、
項目 4 2 に記載の基材。

(8 8)

前記基材の前記第 1 の主面上の前記遮光領域が鏡面状である、項目 4 2 に記載の基材。

(8 9)

前記遮光領域上に金属フレークが存在する、項目 8 8 に記載の基材。

(9 0)

前記遮光領域上に鏡面が存在する、項目 8 8 に記載の基材。

(9 1)

前記遮光領域上に両面の鏡面が存在する、項目 8 8 に記載の基材。

(9 2)

前記微細構造特徴部が光透過性である、項目 4 2 に記載の基材。

(9 3)

第 1 の主面を含むフィルムを含む基材であって、前記フィルムが光透過領域と遮光領域
とを含み、

光透過領域が、1 . 4 mm 未満の少なくとも 2 つの横寸法を有し前記フィルムを貫通す
る一連の孔である、基材。